

計画事業番号	00101	事務事業名	ふれあい温泉事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	2172
--------	-------	-------	----------	------	-----------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市ふれあい温泉入浴助成要綱			
事務事業開始年度	昭和63年		個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 5 節)	高齢者福祉・介護の充実
	(施策 1)	生きがいと社会参加の促進
2 対象	65歳以上の市民	
3 目的と内容	<p>①温泉入浴でくつろぎながら、介護予防を図ることを目的とし、温泉の効用による健康増進と交流促進、閉じこもりを予防し、外出機会をつくるため、温泉入浴助成券を配付する。</p> <p>②老人クラブなどの団体に対し、健康にかかる講話や相談を実施する。</p>	
4 実施内容 (手段)	2 8 年度 まで	<p>①65歳以上の市民に温泉入浴料を1回300円助成する入浴助成券12回分を配布する。(市内3施設対象)</p> <p>②老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されているボランティア団体等に対し、市内の温泉施設において、健康運動指導士による健康講話や血管年齢測定などを実施する。</p>
	2 9 年度	<p>昨年度と同様であるが、</p> <p>①65歳以上の市民に温泉入浴料を1回300円助成する入浴助成券12回分を配布する。(市内3施設対象)</p> <p>②老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されているボランティア団体等に対し、市内の温泉施設において、健康運動指導士による健康講話や血管年齢測定などを実施する。</p>

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	入浴助成券の配布数 3,989部 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施 14回	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)	65歳以上の市民に温泉入浴助成券を配付 老人クラブや構成員が概ね65歳以上で組織されるボランティア団体等に対し、健康講話や血管年齢測定等を実施(年間24回程度)

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			9,149	10,738	12,476	13,076	
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	2,169	2,906	3,119	3,269	
		一般財源	6,980	7,832	9,357	9,807	
	① 合計	9,149	10,738	12,476	13,076		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0
総事業費①+④			9,989	11,578	13,316	13,916	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 65歳以上人口(3月末)	目標値	人	17,800	18,300	18,500	18,700
		実績値		17,641			
	② 利用助成券交付部数	目標値	部	4,300	4,400	4,600	4,700
		実績値		3,989			
③ 温泉利用人数(延べ)	目標値	人	30,900	32,000	33,000	34,000	
	実績値		27,537				
④ 老人クラブ等の温泉事業	目標値	人	350	375	400	425	
	実績値		332				
成果指標	① ① 利用状況(交付) 交付部数/65歳以上人口	目標値	%	24	24	25	25
		実績値		23			
	② ② 利用状況(回数) 温泉利用人数(延べ)/(助成券交付部数×12)	目標値	%	60	60	60	60
		実績値		58			
③	目標値						
	【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	高齢者の温泉嗜好は高いため、外出機会の増加となるので、健康維持及び介護予防に効果があり、医療費及び介護給付費等の節減につながっている。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	高齢者の温泉嗜好は高く、外出機会の増加を図り、健康維持及び介護予防に成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	健康維持及び介護予防の成果については、定量的に評価できるものではないが、1人当たり若しくは1団体当たりの利用回数の制限を増加することにより、成果が向上する可能性があるものとする。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	平成23年度から、利用回数及び1回当たりの助成金額を見直したところであり、コストを削減し、成果を維持することは困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--